PIWU Postal Industry Workers Union

くれ

996号
２０２５年　１月　１日
郵政産業労働者ユニオン
呉支部発行

←中国地本ＨＰへ
PC・スマホ等から
この情報が閲覧可！

メールはこちら→

謹賀新年

呉支部長あいさつ

健やかに新年を迎えられた事、お慶び申し上げます。

さて、昨年を思い返せば、色々な事がありました。

新紙幣が２０年振りに刷新されました。最新の偽造防止やユニバーサルデザインを取り入れた紙幣です。

郵便料金も３０年振りに値上げが行われ、年賀状も６３円から８５円になりました。

値上げによって、郵便事業が赤字解消に向かうか注目されています。

注目と言えば、２０２４年のノーベル平和賞に日本被団協（日本原水爆被害者団体協議会）が選ばれました。

核兵器のない世界を実現する為に活動を続けてきた事が評価されています。

一方で、核兵器保有国であるロシアのウクライナ侵攻は続いています。

この戦争に影響を持つアメリカは、次期大統領にトランプ前大統領の再任が決まっています。

「戦争を一日で終わらせる」と発言したトランプ節。早期の終戦が望まれます。

平和的な競技の世界では、大谷選手が大活躍。チームの一員として優勝に貢献し、実績と新記録でＭＶＰ選手に決定。今後の活躍から目が離せません。

今年の巳年はどんな年になるでしょうか。皆様にとって、みのりある年であれば幸いです。

再度、職場に注目すれば、人員不足等や事業赤字で労働環境は厳しさを増して来ています。

改悪を断固反対する郵政ユニオンは労働者の味方として、職場や労働条件改善を目指しています。

これからも変わらぬご愛顧をお願いし、新年の挨拶とさせて頂きます。

郵政グループの課題

郵政Ｇの課題は、財産でもある郵便局ネットワークである。

全国津々浦々にある郵便局のネットワークは強みではあるが、要員不足や赤字問題などの課題がある。

ネット活用も増えているが、かんぽ生命、ゆうちょ銀行、日本郵便は郵便局ネットワークによって、事業が成立し、株式の様な分別は困難だ。

かんぽ生命

営業に力を入れた結果、かんぽの保険勧誘にお客様の同意がないゆうちょの顧客データ不正使用が発覚。

コンプラ違反として、通報窓口に報告されていたにも関わらず、会社が放置した結果、全国ニュースとなり、金融庁に報告する事態に至った。

調査の結果、データの不正利用が全国で見つかり、法令順守されていない実情が明らかとなった。

コンプラ教育が課題である。

日本郵便

郵便料金値上げにより、事業赤字脱却が課題である。

信書は独占事業だが、ネット利用・認証も増え、利用増加も難しい。

ネット利用によって増えている薄物荷物の取り込みが課題だが、その薄物荷物を巡り、ヤマト運輸との間で問題に発展している。

ゆうちょ銀行

全国の郵便局から集まった資金運用が課題である。

貯金残高は約１９１兆円あるが、自前で融資するノウハウがない為、国債などで運用する率が高く、収益性を求めにくい。

また、外国証券の運用率が高くなっており、円高となった場合の影響不安はあるが、逆に現在の円安は恩恵が大きい。

今後の予定

- １月　１日（水）　６：００～
  元旦ビラ配布
  呉局前
- １月　７日（火）１７：００～
  第５回呉支部執行委員会
  支部事務所
- １月１１日（土）
  第６回地本執行委員会
  第１３回地方委員会
  地本旗開き

次号は　１月　２１日　予定

社員登用試験

一般職、地域基幹職ともに１２月中旬、受験者に最終合否判定が伝えられました。

合格者の皆みなさま おめでとうございます

しかし、効力が発生するのは、４月１日である為、正式採用されるまで、油断は禁物です。

登用試験は一般職の受験人数が毎年減っていますが、一般職から地域基幹職への登用は、前年度以上に採用枠が拡大されました。

今回チャンスに恵まれなかった社員も、今年は飛躍の年になれば幸いです。

一方で、一般職と基幹職の統合を会社は示唆している為、今後の動向を注視する必要があります。